

地区名称とロゴデザインが決定

～藤枝駅前一丁目8街区第一種市街地再開発事業～

要約すると

- 地区名称とロゴデザインは、「FUJIEDA mikine (ふじえだ みきね)」に決定。
- ロゴデザインは藤枝北高校の生徒、地区名称は事業関係者が作成。

現在、本市初の「都市再開発法による市街地再開発事業」として再開発組合が実施している「藤枝駅前一丁目8街区第一種市街地再開発事業」は、平成30年1月の竣工に向けて順調に工事が進められています。

その中で、再開発組合では、この地区が藤枝市の新たな顔となることを目指し、皆様に長く愛される場所となるよう、地区の名称とロゴデザインの市民投票をすることとしました。

地区名称の案は再開発事業関係者から募り、再開発組合で5候補に絞りました。その後、5候補の地区名称からイメージされるロゴデザインを市内の高校生から募集し、特に優れた3点を再開発組合で選定し、市民投票を4月29日から5月12日まで実施しました。その結果、『FUJIEDA mikine (ふじえだ みきね)』が1位となり、この地区の名称とロゴデザインに決定しました。ロゴデザインは、藤枝北高校の柴田李華(しばたりか)さん(当時1年)が作成したものです。

これから、『FUJIEDA mikine』とロゴデザインは、この地区のシンボルとして、再開発ビルのサインなどに積極的に活用されます。



再開発事業完成イメージ

FUJIEDA mikine
〈ふじえだ みきね〉

地区名称の意図

藤枝という名は「藤(花)」と「枝」の2文字でできています。

その基になっている「幹と根」が街の中心からしっかりと張り、枝と花が街中に広がっていくような願いを込めました。

地区名称提案者

事業関係者(権利者)

FUJIEDA
mikine

ロゴデザインの意図

mikineの文字が三角屋根の「家」が連続している街をイメージし、オレンジ色の「i」は街に住む”人”を、もう一つの「i」は”幹”をイメージしました。

街にたくさんの家や建物が増え、人々が集まり、豊かな自然があふれる街になるよう願いを込めました。

ロゴデザイン提案者

県立藤枝北高校(当時1年): 柴田 李華さん